

四條畷市教育委員会ニュース

内容：

- ・松原市の教育に学ぶ
- ・四條畷市教育委員会事業点検評価
- ・四條畷西中学校市内公開授業研究会

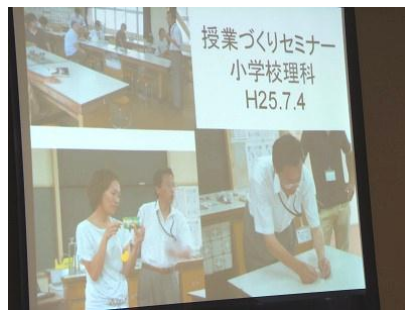
「松原市の教育に学ぶ」

○「まつばら学力向上チャレンジプラン」で学力アップ!

7月5日（金）市内小中学校の学力向上担当者と市教育委員会の15名で、松原市教育委員会を訪問し「まつばら学力向上チャレンジプラン」にもとづく教育について学ぶ機会を得ました。

松原市は、市内の公立幼稚園9園・小学校15校・中学校7校において、ここ数年、授業力の向上に重点をおいて取組んでこられ、特に「読む・書く・話す」の言語活動を重視した授業づくりを進め、市内すべての小中学校において授業研究会が公開され、すべての教職員がいずれかの研究会へ参加し、全市一体となって自らの授業改善に努められてきました。

また、大阪府学力学習状況調査（平成24年度実施）の児童生徒アンケート結果では「コース別学習はよく分かる」「放課後や休みの日の学習教室は役立った」と答えた子どもたちが多く見られ、学力調査での無解答率（答



「まつばら学力向上チャレンジプラン」のプレゼンテーション

えのない白紙部分）もさがってきています。さらに「自分の気持ちを分かってくれる友だちがいる」「人の気持ちのわかる人間になりたい」と答える子どもたちも多く、子どもたちの学習意欲の向上と、各学校での授業改善の取組み等が定着しています。結果、ここ数年学力調査においても、特に小学校の改善に顕著さがみられます。

【松原市立恵我南小学校の取組みから】

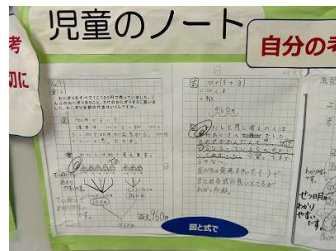
- ・大阪府教育センターと算数科の授業改善に取り組んできた
- ・校内の研究組織を「授業研究」と「授業環境」に整理し取り組んできた
- ・全校で算数科のノートの活用方法を統一し、子どもの自立性をのばす取組みをおこなっている

例示：1時間の授業を2ページ見開きでまとめる

左のページ：「日付」「問題」「予想」「自分の考え」

右のページ：「答え」「ふりかえり」「練習」まとめは黒板を写すのではなく、自分の言葉で書く

- ・事前に模擬授業（先生が授業者役・子ども役になって模擬の授業をやってみる）を実施し、子どもの立場に立った授業のあり方を研究する
- ・成果として：子どもが授業で学びとったことを自分の言葉でまとめる作業を全校で取組むことにより「先生が教え込む授業」から「子どもが学びとる授業」への転換が図られた



「人間関係づくり」の取組みを本にまとめ発行されました。授業力向上として「児童のノート」の活用方法は明日から使えます。

【小中一貫教育の取組みから】

- ・小学校での音読指導の学習成果を中学校へ継承することで、小学校と中学校のスムーズな接続が図られた
- ・新入生を受け入れる中学校ではオリエンテーリング用の冊子を作成し、中学校での過ごし方を説明

【若手教員をみんなで育てる】

- ・ 初任者を育てる3年間の取組み（一例）
 - 1年目 市教育委員会主催で市少年自然の家で宿泊研修
 - 2年目 「まつばら学校エンパワーメント事業ファシリテーター養成研修会」でクラスや学年での集団づくりをはぐくむワークショップ教員研修を実施
 - 3年目 市教育委員会主催の「国際交流キャンプ」の宿泊交流会にスタッフとして参加し、外国にルーツを持つ児童生徒と周りのなかまとの交流で多文化共生社会の担い手を育てる

【市学力診断テストを作成・実施・考察・授業改善サイクルを確立】

- ・ 「松原市教育課程研究推進協議会」が中心となって小学校2年～6年の国語・算数、中学校1年～3年の国語・数学・英語の診断テストを作成、年度初めに実施し授業改善に取り組む

【本市参加者の声から】

- ・ 自校の子どもたちの学習活動に「音読指導」を取り入れ、文章読解力を高めたい
- ・ 読書タイムを取り入れ、学習意欲を高めたい
- ・ 算数科のノート活用方法を取り入れてみたい
- ・ 校内研究組織のあり方で「授業研究」「授業環境」が参考になった
- ・ 松原市から教員が転動してこられたが、「本市の子どもたちの言葉づかいがきついと感じた」と言っておられた。松原市の「相手の立場に立って物事を考え行動する教員研修」の内容からその理由が理解できた
- ・ 市教育委員会の教員研修に「人間関係づくり」を取り入れたい
- ・ 若手教員の育成には、授業力向上をめざした方法として、全員授業・全員参加と指導案の蓄積を実施したい

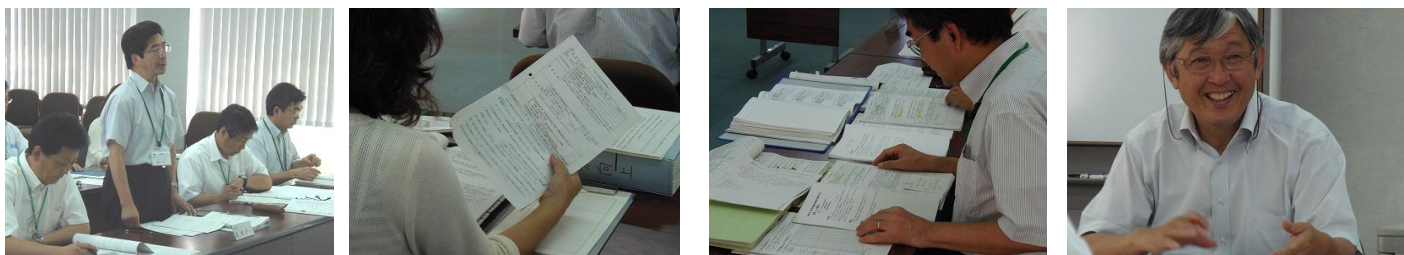


参加者からは、自校の研究体制や研究内容を振り返り、今後の具体的な解決策を模索しながら 夢が語られました。

○四條畷市教育委員会事業点検評価を受けています

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成20年4月1日施行）、市町村教育委員会において、毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられています。

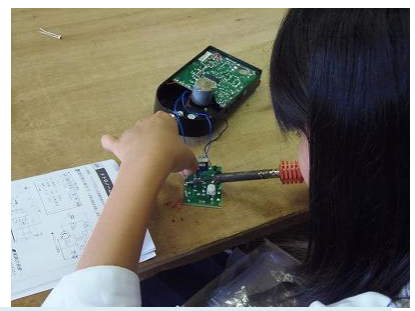
現在、本市教育委員会においても、平成24年度の様々な施策・事業について、外部評価委員（大阪教育大学 島善信教授と京都女子大学 岩槻知也教授）からご意見をいただきながら、教育委員会自らが点検・評価を実施し、報告書としてまとめる作業に入っています。この7月には外部評価委員による点検評価を実施し、市民への説明責任を果たしながら信頼される教育委員会をめざします。



教育委員会のすべての事業内容が説明され、報告書としてどのようにまとめていくか。第3者の外部評価委員（島教授）から意見を求めました。

この点検評価報告書により、今後も主体的に教育改革を進めるとともに、21世紀を力強く生きる人づくりを全力で推進してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

○第1回 四條畷西中学校市内公開授業研究会から



・第2学年 技術科 本時の目標「はんだごてを安全に扱えるようになる」
ラジオを組み立てながら、はんだごての扱い方を学習しました。注意点を理解した後、部品をはんだで接続していきま
した。真剣な面持ちで、慎重に作業を進めています



・第2学年 社会科 単元「連判状にまとまる人々」農村の変化と百姓一揆の高まり
江戸時代の貨幣により人々の生活が大きく変わり、貨幣経済に振り回される農民たちの生活状況を理解し、困窮を
解決するために百姓一揆や打ちこわしに動き始めたことについて班で話し合い発表しました



・第2学年 理科 単元「化学変化と原子分子」
身近な物質である「重曹(じゅうそう)」を材料に、加熱するとどのように変化するかを化学的に理解します。グループで話し
合いながら、実験手順を適切に進め化学変化について、みんなの前で発表しました



・第2学年 数学科 本時のねらい「3元1次方程式の解法」
直方体の小包にかけられたヒモの長さから、直方体の縦・横・高さの長さを求める問題。班活動として自分の考えを班で発表
し、学習ボードにまとめ全員の前で班の考えを説明しました。答えの出し方にはいろんな考えが出てきました